

平成27年度第3回佐久市総合計画審議会第1部会 議事録

日 時:平成27年10月15日(木)

15:00～17:00

場 所:佐久市役所 6階

602会議室

【出席者】油井部会長、大池副部会長、清水委員、依田委員、土屋委員、武者委員、
小林委員、上原委員、美齊津委員、

【事務局】佐藤企画課長、若林課長補佐(企画調整係長)、小林、大井

1 開会

2 部会長挨拶

3 議 事

(1) 第2回部会での質問等に対する回答について

- ・事務局より前回質問事項について、回答を説明。

(資料4)

ア 資料4に関する質問・意見

なし

(2) 「市民アンケート結果の推移」の検討について

(3) 「目標」の進行状況の評価及び今後の方針の検討について

(4) 「チャレンジ!!」の進行状況の評価及び今後の方針の検討について

- ・事務局より、「チャレンジ!!」の進行状況の審議資料の見方について説明。

(資料3-1)

- ・事務局より、第一次佐久市総合計画後期基本計画の第1章に掲げられた「チャレンジ!!」及び第6章に掲げられた「アンケート結果」、「目標」、「チャレンジ!!」について説明。その後、部会において審議。

(資料2-2、資料3-2)

ア 資料の見方に関する質問・意見

なし

イ 第1章「チャレンジ!!」 質問・意見

	資料 3-2P1 施策コード 111、112、113、114
(委員)	チャレンジで、定量的に目標を設定しているものがありますが、これについては、現状どうなっているかの分析はしないのでしょうか。
(事務局)	チャレンジは、計画期間に関係なく施策の目指すべき方向を示したものです。定量的なものについては、今どのくらいであるかはこの表では見ておりません。基本的には、チャレンジは目指すべき方向ですので、今後の取組を中心に見ていただければと思います。
(委員)	現状に対してあまりにも差があれば、唱えただけのチャレンジになってしまうのでしょうか。
(事務局)	後期基本計画の策定において、チャレンジを掲げて取り組んできましたが、今後、第二次総合計画の策定においてチャレンジの考え方もご審議いただければと思います。
(委員)	施策 114 の男女共同参画社会は、目標が審議会の女性委員の登用率で、チャレンジがDV被害の相談窓口の認知率ということで、難しいものをチャレンジに選んだのでしょうか。差別事象 0 というのも現在はどうなっているのでしょうか。
(事務局)	差別事象については5年間で1件ということで、0ではございませんでした。DVの相談窓口の認知率については、平成22年のときの調査では44%で、今年度同様の調査を予定しているとのことです。
(部会長)	掲げるからには減っているようにしていただきたいと思います。
(委員)	チャレンジは、ずっと変わらないのでしょうか。
(事務局)	チャレンジは、後期計画策定時から変わっておりません。平成28年度まではこのままとなります。第1次計画の評価を基に、第2次計画を作っていきますので、チャレンジをどうしていくかというのは、その際にご審議いただきたいと思います。

(委員)	実績がどうかというよりも、もっとこうの方が良いといった前向きな意見を言えば良いということでしょうか。
(事務局)	方針、取組の状況を記載させていただいておりますので、チャレンジを実現するために、もっと取り組むべきところ等についてご意見をいただければと思います。
(委員)	施策 112 に地域間交流・国際交流の方針が、移住の話と空き家バンクの話となっておりますが、交流人口となると観光の施策でも交流人口というのがでてきています。このあたりは相互乗り入れのような関係があると思いますが、空き家バンクだけではチャレンジと落差が大きすぎるのではないのでしょうか。
(事務局)	確かに空き家バンクのみでなく、観光等の分野でも交流人口は生まれていくかと思います。
(委員)	文化施設は、貸館系と、観覧系とありますが、この文化施設館長会議は、観覧系の館長になるのでしょうか。
(事務局)	館長会議には貸館系の館長も参加しております。
(委員)	スタンプラリーにはコスモホールも含んでいるのでしょうか。
(事務局)	含まれています。
(委員)	それで、文化芸術の方針は全施設でなく、2～3 施設の連携となっているということですね。それは正しいかと思います。
(部会長)	他に意見はございませんね。それでは、ただ今出た意見等を部会の報告にまとめとして付記していただきたいと思います。
(委員)	資料 3-2 P1 施策コード 122、123、124 123 のチャレンジに高等教育機関の誘致が入っていますが、取組が奨学金のみとなっているのは良いのでしょうか。

(委員)	佐久大学ができた後、さらに高等教育機関を誘致しようと思っているのでしょうか。
(事務局)	今、進めているところはありません。しかし、そういう機会があれば、若者が市外に出ていく事も少なくなりますし、考えていきたいと思っています。現状では、市内高等教育機関への支援という部分が強いかと思います。
(委員)	奨学金の枠はどのくらいでしょうか。
(事務局)	奨学金に人数の枠は設けておりません。現在80名程度の貸与者があります。
(委員)	今後の方針で、高等教育機会の拡充とありますが、奨学金を増やすということでしょうか。
(事務局)	奨学金も制度を変えるなどし、多くの人に借りていただけるようにしてきており、2~3年で利用者は多くなっているところです。
(委員)	次の計画の時の話なのかもしれませんが、県立短大の話や、長野大学、諏訪東京理科大の公立化の話の中で、佐久市としても佐久大学との関係を考えなければいけない時期に来ているように感じます。大学も社会全体の子どもが減っている中で色々考えているのではないのでしょうか。
(事務局)	佐久大学から公立化の話は現在ありませんので、今の関係が続いていくかと思います。
(委員)	この高等教育の今後の方針ですが、もう少し具体的に書くべきではないのでしょうか。
(事務局)	高校教育や、高等教育は国や県の所管の部分が多いため、市として出来ることが限られている部分もあります。今後の方針については記載内容を担当課と調整したいと思います。

(委員)	佐久平総合技術学校になった時に、市は関与とかがしているのでしょうか。
(事務局)	最初に廃校や閉校の話があったときは、中学校のPTAの皆さんと共同歩調で県や県教委への要望は行っていました。
(部会長)	その他の施策はよろしいでしょうか。それでは、そちらは記載内容のとおり取り組んでいただくということでお願いします。
	資料 3-2 P 2 施策コード 131, 132
(委員)	131 生涯学習の図書館の自治体間ネットワークの話ですが、上田・小県と坂城町は出来ていると思うのですが、難しいことなのでしょうか。全部の市町村でやらずに近い所とやるなどすればできるのではないのでしょうか。
(事務局)	ハード面では可能かと思いますが、システムや契約の面でなかなか進んでいないようです。
(委員)	相手があることだから、相手がどう考えているもあると思います。
(委員)	今後の方針欄の「検討が必要と思われる」では、方針とは言えないため、「検討する」に直した方が良いのではないのでしょうか。
(事務局)	担当課と修正の方向で調整いたします。
(部会長)	それでは、今出たご意見を踏まえ、取組を進めていただきたいと思います。

ウ 第6章 質問・意見

	資料 2-2P 4 0 施策名：交通安全
(委員)	平成24年度の実績値が15,000人と多いが何かあったのでしょうか。これだけ多ければ、この年にしたことをやればいいのではないのでしょうか。
(事務局)	担当課に確認いたします。
(部会長)	他はよろしいでしょうか。では先に進ませていただきます。
	資料 2-2P 4 2 施策名：消費生活
(委員)	講習会の開催依頼は、老人クラブだけで良いのでしょうか。
(委員)	老人クラブがない区もあり、「いきいきサロン」などでもやれば良いと思いますが。
(委員)	望月には老人クラブは1つしかありません。
(事務局)	担当課にやり方について、ご意見を伝えたいと思います。
(部会長)	それでは、ただ今出た意見等を部会の報告にまとめとして付記していただきたいと思います。
	資料 2-2P 4 3 施策名：協働のまちづくり
(委員)	アンケート結果の分析ですが、最初の4行ほどはいらぬのではないのでしょうか。アンケートの分析ではないと思います。
(事務局)	結果の分析としては適正でないかと思いますが、削除させていただきます。
(部会長)	サポートセンター登録団体数は、単年でしょうか。
(事務局)	累積になります。

(部会長)	300団体を目標としていますが、この様な団体はどのくらいあるのでしょうか。
(事務局)	団体数は把握していないかと思います。この様な事業を行う中で団体の増加も視野には入れていたかと思います。
(委員)	団体の構成員の年齢層を見ても高齢化が進んで、活動が厳しいような団体も出てきているのではないのでしょうか。若い人が参加するようだと良いと思いますが。
(委員)	活動していても、この様な登録を知らない団体もあるのではないのでしょうか。
(事務局)	そのような面では、方針にもありますが、広報、PRを頑張っていきたいと考えております。
(部会長)	それでは、ただ今出た意見等を部会の報告にまとめとして付記していただきたいと思います。
	資料 2-2P 4 4 施策名：コミュニティ助成
(委員)	今後の方針の交付金は新しい交付金となるのでしょうか。
(事務局)	こちらは、今の交付金を引き続き交付することとなります。分かりにくいかと思いますので、記載内容を修正させていただきます。
(部会長)	他はよろしいのでしょうか。それでは、方針については修正をお願いします。
	資料 2-2P 4 5 施策名：公共施設
(部会長)	アンケート結果の、市民の公共施設マネジメントに対する意識が低いというのは適当でしょうか。
(事務局)	意識が低いというより、理解が進んでいないということかと思います。
(部会長)	記載の方を修正した方が分かりやすいと思いますので、お願いします。

	資料 2-2P 4 6 施策名：行財政
(委員)	今、差し押さえ等はしているのでしょうか。
(事務局)	行っております。
(委員)	不能欠損はどのくらいになるのでしょうか。
(事務局)	不能欠損額は、平成 26 年度の市税全体で 1 億 7, 200 万円強です。多いのは固定資産税で 1 億 2, 600 万円強です。
(委員)	アンケート結果は、市民感情とずれているのではないのでしょうか。税に対する関心は高いと思いますが。
(部会長)	こちら調整をお願いしたいと思います。
	資料 2-2P 4 7 施策名：広域連携
(委員)	定住自立圏の事業は、どのようなことを行っているのでしょうか。
(事務局)	浅間病院での休日の小児救急などがあります。現在、社会体育施設の相互乗り入れなども検討している等、様々な事業を行っています。
(委員)	市民に浸透しているのでしょうか。
(事務局)	広報的には少ないのかも知れません。広域で連携して行っているといった情報は、市民にとってはあまり必要無いかもしれません。
(委員)	市が単独でやっているサービスと思っている人も多いのではないのでしょうか。
(部会長)	他に意見はございますか。では、こちらはこのように進めていただくということでお願いします。

エ 第6章「チャレンジ!!」 質問・意見

<p>(委員)</p>	<p>資料 3-2 P 8 施策コード 611、612、613、614、615</p> <p>チャレンジはほとんどがB「具体的取り組みを実施中」になってしまおうと思います。取り組むのは当たり前ですので、この方法は考えないといけないのではないのでしょうか。</p>
<p>(部会長)</p>	<p>進行管理を分かりにくくしている気がします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>第2次の計画策定ではそちらも踏まえて審議していただければと考えております。</p>
<p>(委員)</p>	<p>資料 3-2 P 1 施策コード 621、622、623、624、625</p> <p>624の行財政はこの書き方では市民は分からないと思います。もっと分かりやすく書くべきだと思いますが。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>市民にも分かりやすいような記載になるよう、担当課と調整いたします。</p>
<p>(部会長)</p>	<p>他にはよろしいでしょうか。では調整いただくもの以外は記載のとおり進めていただくということをお願いします。</p>

(5) その他

- ・いただいた意見のまとめ方及び部会報告書の作成について連絡
- ・次回会議の日程について連絡

4 閉 会